

1月21日、地本は「名古屋駅の休養室の移転等」と「名古屋駅（笹島）受託業務解消」について会社から提案を受け業務委員会を開催しました。

「名古屋駅の休養室の移転等」は、名古屋駅構内で建設中の名古屋駅新ビル（仮称・新ビル）の建設にあたり防災設備強化の必要から、現在の名古屋駅休養室の移転を実施するというものです。「名古屋駅受託業務解消」は、現在、日本貨物鉄道会社から受託している貨物列車の入換誘導業務を解消するというものです。

会社からの提案

・「新ビル建設に伴う名古屋駅構内一部施設の移転等について」

1. 主な実施内容及び実施時期

- (1) 新幹線北部高架下にある名古屋駅休養室を太閤ビル2階に移転
 実施時期：平成27年1月頃
- (2) 太閤ビル2階にあるテレホンセンターを太閤ビル5階と地下1階に移転
 実施時期：平成25年11月頃
- (3) 太閤ビル地下1階の社員食堂を廃止
 実施時期：平成25年6月末

2. その他

- (1) 上記対応の実施に伴い太閤ビル内において執務スペースの移動、指令ロッカー室・倉庫等の移転、会議室の再配置等を行う
- (2) テレホンセンターと併設の広報部サービス相談室もテレホンセンターと同位置に移転する

・「名古屋駅構内作業体制の一部変更について」

1. 実施内容

分類	種別	勤務種別		要員増減
		現行	改正	
管理	助役(輸送)	交代8形×1	日勤2 × 1	△2
輸送	操車	交代8形×1	変形5b×1	△1
	信号	交代8形×2	交代4形×2	±0

2. 実施時期

平成25年4月1日

主な議論

休養室移転の目的について

組合：名古屋駅新ビルというのは中央リニア新幹線の地下駅となるビルなのか。

会社：そういう事ではない。松坂屋と郵便局の跡地に建設するビルである。

組合：なぜ必要なのか。

会社：法律上はタワーズ、駅、新ビル、新幹線高架下などは一つの建物と見なされる。最近に防災関連基準の法律が変わった。今回のビルの改築に合わせ建物全体がより厳しい防災基準に合わさなければならなくなった。

組合：防災設備の強化と言うことだが具体的にはどの様な内容になるのか。

会社：現休養室の場所に排煙設備を設置するとか防火戸の強化等を行うものである。

新しい休養室・社員食堂について

組合：現在、北部高架下にある名古屋駅の休養室の部屋数はいくつあるのか。

会社：125室である。

組合：125室分が新しい所に移動するのか。作りも同じ、個室なのか。

会社：今と変わらない物になる。

組合：休養室、浴室も今と変わらない広さ、設備とすること。現在は駅社員は業務通路を通っているが、新しい休養室へ行くにはどの様に行くことになるのか。

会社：一度、駅の外へ出てから行くことになる。

組合：セキュリティなどからも、新しい業務通路を作ることが必要ではないか。

会社：現実的に場所がなく無理である。運輸区の社員は現状で出入りしている。

組合：新しい休養室への出入りはどうなるのか。

会社：太閤ビルであるが休養室の出入口は別で、現行の太閤ビルの出入口とは別である。

組合：社員食堂を廃止するとなっているが、福利厚生施設である。社員食堂に変わるものはなにか考えているのか。

会社：近くに店はあるので問題ないと考える。

組合：今回の休養室の移転、防災設備の工事費用はどの位かかるのか。

会社：経費は判らない。

組合：年度計画で示されていない。後から提案され計画的にやられていないのではないか。

会社：相手がある話しでこの様になってしまった。

名古屋駅構内作業の変更について

組合：名古屋駅構内作業体制の一部変更は何が変わるのか。

会社：これは笹島駅貨物列車入換誘導業務がなくなることだ。

組合：現状の入換作業はいくつあるのか。

会社：現在10本前後である。

組合：なぜ、今回受託解消を行うのか。

会社：自分の所は自分でやる事が原則、これまでも、貨物会社と協議をしてくれていた。今回のタイミングになった。

組合：要員体制が△2と△1となっているがどうなるのか。

会社：適切に配置をする。

組合：他職という事なのか。

会社：管理者の方は、どこにでも行けますから。

組合：本人の希望を尊重して配置を行うこと。今後、問題が出てきたら申し入れを行う。

以上